

第2号様式（第4条）

廃棄物処理施設（最終処分場）維持管理記録票（平成31年4月分）

施 設 の 名 称		神明台処分地（第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立）															
施 設 の 種 類		一般廃棄物最終処分場															
施設の設置場所		横浜市泉区池の谷4098 外															
施 設 の 概 要		面 積				93,000㎡ (3万4千㎡+3万5千㎡+2万4千㎡)				埋立 容量		1,500,000㎡ (33万㎡+81万㎡+36万㎡)					
埋 立 処 分 量 (t) (累計)	一 般 廃棄物	焼 却 灰				不 燃 物				計							
		1,188,169				39,268				1,227,437							
	産 業 廃棄物	燃 え 殻		汚 泥		廃プラスチック類				ゴ ム く ず							
		金 属 く ず		ガラス・陶器くず		鋳 さ い				が れ き 類							
		ば い じ ん		そ の 他						月 計							
	覆土量	覆土量								埋立量							
										1,227,437							
残余埋立容量（平成 年度末時点）㎡																	
擁 壁 点 検		点検日：	31 年 4 月 26 日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														
遮 水 工 点 検		点検日：	31 年 4 月 26 日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														
調 整 池 点 検		点検日：	31 年 4 月 26 日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														
浸出水処理施設点検		点検日：	31 年 4 月 26 日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														

※埋立量は、各処分場からの実績報告による。

施設名		神明台処分地 第7次排水処理施設			
採取場所		排水処理施設放流口			
項目		水質検査結果の 得られた年月日	試料採取年月日	検査結果	排水基準値
水素イオン濃度(pH)		令和元年5月15日	平成31年4月2日	6.9	5.8以上8.6以下
化学的酸素要求量(COD)				3.8	25
生物化学的酸素要求量(BOD)				<1	8
浮遊物質質量(SS)				<10	60
窒素含有量(T-N)				15	100
アルキル水銀(R-Hg)		平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)		平成30年8月22日	平成30年7月3日	<0.0005	0.005
カドミウム(Cd)		令和元年5月15日	平成31年4月2日	<0.003	0.03
鉛(Pb)				<0.05	0.1
銅(Cu)				<0.1	1
亜鉛(Zn)				<0.1	1
溶解性鉄(D-Fe)				<0.1	3
溶解性マンガン(D-Mn)				<0.02	1
クロム(T-Cr)				<0.1	2
ニッケル(Ni)				<0.1	1
六価クロム(Cr ⁶⁺)		平成30年8月22日	平成30年7月3日	<0.05	0.5
砒素(As)		平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.01	0.1
セレン(Se)				<0.01	0.1
全シアン(CN)		平成30年9月19日	平成30年7月3日	<0.05	1
PCB		平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.0005	0.003
トリクロロエチレン		平成30年9月19日	平成30年7月3日	<0.0002	0.1
テトラクロロエチレン				<0.0002	0.1
ジクロロメタン				<0.0002	0.2
四塩化炭素				<0.0002	0.02
1,2-ジクロロエタン				<0.0002	0.04
1,1-ジクロロエチレン				<0.0002	1
シス-1,2-ジクロロエチレン				<0.0002	0.4
1,1,1-トリクロロエタン				<0.0002	3
1,1,2-トリクロロエタン				<0.0002	0.06
1,3-ジクロロプロペン				<0.0002	0.02
ベンゼン				<0.0002	0.1
1,4-ジオキサン				<0.005	0.5
チウラム		平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.001	0.06
シマジン		平成30年12月12日	平成30年7月3日	<0.0003	0.03
チオベンカルブ				<0.0003	0.2
有機燐化合物(Org-P)		平成30年9月19日	平成30年7月3日	<0.1	0.2
ぼう素				0.66	10
弗素(F)				<1	8
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)		平成30年8月22日	平成30年7月3日	<1	5
ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類)					5
フェノール類		平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.03	0.5
大腸菌群数		平成31年4月5日	平成31年3月19日	0	3000
アンモニア性窒素		平成31年2月8日	平成31年1月8日	<0.5	100
亜硝酸性窒素				<0.02	
硝酸性窒素				3.7	
燐(T-P)		平成31年4月5日	平成31年3月19日	<0.05	0.5
ダイオキシン類		平成31年1月15日	平成30年12月21日	0.00057	10
措置	年 月 日				

※ 単位:mg/l (pH(-)、大腸菌群数(個/ml)、ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ ノルマルヘキサン抽出物質含有量の値は、鉱油類及び動植物油脂類の合算値を表示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「横浜市生活環境の保全等に関する条例」、

「横浜市環境影響評価条例」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

周縁地下水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次)			
採水場所		処分地内上流域及び下流域			
項目	水質検査結果の 得られた年月日	採取年月日	検査結果		環境基準値
			上流域	下流域	
電気伝導率	令和元年5月15日	平成31年4月9日	22	32	－
塩化物イオン			9.8	7.6	－
アルキル水銀(R-Hg)	平成30年5月23日	平成30年1月31日	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)			<0.0005	<0.0005	0.0005
カドミウム(Cd)			<0.0003	<0.0003	0.003
鉛(Pb)			<0.005	<0.005	0.01
六価クロム(Cr ⁶⁺)			<0.02	<0.02	0.05
砒素(As)			0.002	<0.002	0.01
セレン(Se)			<0.002	<0.002	0.01
全シアン(CN)			<0.1	<0.1	検出されないこと
PCB			<0.0005	<0.0005	検出されないこと
トリクロロエチレン			<0.001	<0.001	0.01
テトラクロロエチレン			<0.001	<0.001	0.01
ジクロロメタン			<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素			<0.0002	<0.0002	0.002
塩化ビニルモノマー			<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン			<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.001	<0.001	0.04
トランス-1,2-ジクロロエチレン			<0.004	<0.004	
1,1,1-トリクロロエタン			<0.001	<0.001	1
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン			<0.001	<0.001	0.01
1,4-ジオキサン			<0.005	<0.005	0.05
チウラム			<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン			<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ			<0.002	<0.002	0.02
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			<0.1	<0.1	10
ほう素			<0.1	0.2	1
弗素(F)	0.2	0.2	0.8		
ダイオキシン類	0.042	0.052	1		
措置	年 月 日				

※ 単位:mg/l (電気伝導率(mS/m), ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「環境基本法」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

第2号様式（第4条）

廃棄物処理施設（最終処分場）維持管理記録票（令和元年5月分）

施設の名称		神明台処分地（第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立）															
施設の種類		一般廃棄物最終処分場															
施設の設置場所		横浜市泉区池の谷4098 外															
施設の概要		面積	93,000㎡ (3万4千㎡+3万5千㎡+2万4千㎡)						埋立容量	1,500,000㎡ (33万㎡+81万㎡+36万㎡)							
埋立処分量 (t) (累計)	一般廃棄物	焼却灰				不燃物				計							
		1,188,169				39,268				1,227,437							
	産業廃棄物	燃え殻				汚泥				廃プラスチック類				ゴムくず			
		金属くず				ガラス・陶器くず				鋳さい				がれき類			
		ばいじん				その他								月計			
	覆土量	覆土量								埋立量							
										1,227,437							
残余埋立容量（令和 年度末時点）㎡																	
擁壁点検	点検日：	令和元年 5月 31日 結果：異状なし															
	措置日：	年 月 日 内容：															
遮水工点検	点検日：	令和元年 5月 31日 結果：異状なし															
	措置日：	年 月 日 内容：															
調整池点検	点検日：	令和元年 5月 31日 結果：異状なし															
	措置日：	年 月 日 内容：															
浸出水処理施設点検	点検日：	令和元年 5月 31日 結果：異状なし															
	措置日：	年 月 日 内容：															

※埋立量は、各処分場からの実績報告による。

放流水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)		
採取場所		排水処理施設放流口		
項目	水質検査結果の 得られた年月日	試料採取年月日	検査結果	排水基準値
水素イオン濃度(pH)	令和元年6月17日	令和元年5月8日	6.9	5.8以上8.6以下
化学的酸素要求量(COD)			5.8	25
生物化学的酸素要求量(BOD)			<1	8
浮遊物質(SS)			<10	60
窒素含有量(T-N)			13	100
アルキル水銀(R-Hg)	平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)	平成30年8月22日	平成30年7月3日	<0.0005	0.005
カドミウム(Cd)	令和元年6月17日	令和元年5月8日	<0.003	0.03
鉛(Pb)			<0.05	0.1
銅(Cu)			<0.1	1
亜鉛(Zn)			<0.1	1
溶解性鉄(D-Fe)			<0.1	3
溶解性マンガン(D-Mn)			<0.02	1
クロム(T-Cr)			<0.1	2
ニッケル(Ni)			<0.1	1
六価クロム(Cr ⁶⁺)	平成30年8月22日	平成30年7月3日	<0.05	0.5
砒素(As)	平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.01	0.1
セレン(Se)	平成30年9月19日	平成30年7月3日	<0.01	0.1
全シアン(CN)			<0.05	1
PCB			<0.0005	0.003
トリクロロエチレン			<0.0002	0.1
テトラクロロエチレン			<0.0002	0.1
ジクロロメタン			<0.0002	0.2
四塩化炭素			<0.0002	0.02
1,2-ジクロロエタン			<0.0002	0.04
1,1-ジクロロエチレン			<0.0002	1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.0002	0.4
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0002	3
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0002	0.06
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	0.02
ベンゼン			<0.0002	0.1
1,4-ジオキサン			<0.005	0.5
チウラム	平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.001	0.06
シマジン	平成30年12月12日	平成30年7月3日	<0.0003	0.03
チオベンカルブ	平成30年9月19日	平成30年7月3日	<0.0003	0.2
有機燐化合物(Org-P)			<0.1	0.2
ほう素			0.66	10
弗素(F)	平成30年8月22日	平成30年7月3日	<1	8
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)			<1	5
ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類)	平成30年11月21日	平成30年7月3日		5
フェノール類			<0.03	0.5
大腸菌群数	平成31年4月5日	平成31年3月19日	0	3000
アンモニア性窒素	平成31年2月8日	平成31年1月8日	<0.5	100
亜硝酸性窒素			<0.02	
硝酸性窒素			3.7	
燐(T-P)	平成31年4月5日	平成31年3月19日	<0.05	0.5
ダイオキシン類	平成31年1月15日	平成30年12月21日	0.00057	10
措置	年 月 日			

※ 単位:mg/l (pH(-)、大腸菌群数(個/ml)、ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ ノルマルヘキサン抽出物質含有量の値は、鉱油類及び動植物油脂類の合算値を表示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「横浜市生活環境の保全等に関する条例」、

「横浜市環境影響評価条例」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

令和元年6月17日

周縁地下水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)			
採水場所		処分地内上流域及び下流域			
項目	水質検査結果の 得られた年月日	採取年月日	検査結果		環境基準値
			上流域	下流域	
電気伝導率	令和元年6月17日	令和元年5月15日	22	31	-
塩化物イオン			9.8	6.4	-
アルキル水銀(R-Hg)	令和元年6月17日	平成31年1月23日	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)			<0.0005	<0.0005	0.0005
カドミウム(Cd)			<0.0003	<0.0003	0.003
鉛(Pb)			<0.005	<0.005	0.01
六価クロム(Cr ⁶⁺)			<0.005	<0.005	0.05
砒素(As)			<0.005	<0.005	0.01
セレン(Se)			<0.005	<0.005	0.01
全シアン(CN)			<0.01	<0.01	検出されないこと
PCB			<0.0005	<0.0005	検出されないこと
トリクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.01
テトラクロロエチレン			<0.0005	<0.0005	0.01
ジクロロメタン			<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素			<0.0002	<0.0002	0.002
塩化ビニルモノマー			<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン			<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.001	<0.001	0.04
トランス-1,2-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0005	<0.0005	1
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン			<0.001	<0.001	0.01
1,4-ジオキサン			<0.005	<0.005	0.05
チウラム			<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン			<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ			<0.002	<0.002	0.02
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			<0.7	0.7	10
ほう素			<0.01	0.16	1
弗素(F)	0.2	0.3	0.8		
ダイオキシン類	0.068	0.076	1		
年 月 日					
措置					

※ 単位:mg/l (電気伝導率(mS/m), ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「環境基本法」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

第2号様式（第4条）

廃棄物処理施設（最終処分場）維持管理記録票（令和元年6月分）

施設の名称		神明台処分地（第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立）													
施設の種類		一般廃棄物最終処分場													
施設の設置場所		横浜市泉区池の谷4098 外													
施設の概要		面積				93,000㎡ (3万4千㎡+3万5千㎡+2万4千㎡)				埋立容量		1,500,000㎡ (33万㎡+81万㎡+36万㎡)			
埋立処分量 (t) (累計)	一般廃棄物	焼却灰				不燃物				計					
		1,188,169				39,268				1,227,437					
	産業廃棄物	燃え殻		汚泥		廃プラスチック類				ゴムくず					
		金属くず		ガラス・陶器くず		鉱さい				がれき類					
		ばいじん		その他						月計					
	覆土量	覆土量				埋立量									
						1,227,437									
残余埋立容量（令和 年度末時点）㎡															
擁壁点検		点検日：		令和元年 6月 28日 結果：異状なし											
		措置日：		年 月 日 内容：											
遮水工点検		点検日：		令和元年 6月 28日 結果：異状なし											
		措置日：		年 月 日 内容：											
調整池点検		点検日：		令和元年 6月 28日 結果：異状なし											
		措置日：		年 月 日 内容：											
浸出水処理施設点検		点検日：		令和元年 6月 28日 結果：異状なし											
		措置日：		年 月 日 内容：											

※埋立量は、各処分場からの実績報告による。

放流水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)		
採取場所		排水処理施設放流口		
項目	水質検査結果の 得られた年月日	試料採取年月日	検査結果	排水基準値
水素イオン濃度(pH)	令和元年7月18日	令和元年6月4日	6.8	5.8以上8.6以下
化学的酸素要求量(COD)			4.3	25
生物化学的酸素要求量(BOD)			<1	8
浮遊物質(SS)			<10	60
窒素含有量(T-N)			16	100
アルキル水銀(R-Hg)	平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)	平成30年8月22日	平成30年7月3日	<0.0005	0.005
カドミウム(Cd)	令和元年7月18日	令和元年6月4日	<0.003	0.03
鉛(Pb)			<0.05	0.1
銅(Cu)			<0.1	1
亜鉛(Zn)			<0.1	1
溶解性鉄(D-Fe)			<0.1	3
溶解性マンガン(D-Mn)			<0.02	1
クロム(T-Cr)			<0.1	2
ニッケル(Ni)			<0.1	1
六価クロム(Cr ⁶⁺)	平成30年8月22日	平成30年7月3日	<0.05	0.5
砒素(As)	平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.01	0.1
セレン(Se)			<0.01	0.1
全シアン(CN)	平成30年9月19日	平成30年7月3日	<0.05	1
PCB	平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.0005	0.003
トリクロロエチレン	平成30年9月19日	平成30年7月3日	<0.0002	0.1
テトラクロロエチレン			<0.0002	0.1
ジクロロメタン			<0.0002	0.2
四塩化炭素			<0.0002	0.02
1,2-ジクロロエタン			<0.0002	0.04
1,1-ジクロロエチレン			<0.0002	1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.0002	0.4
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0002	3
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0002	0.06
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	0.02
ベンゼン			<0.0002	0.1
1,4-ジオキサン			<0.005	0.5
チウラム	平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.001	0.06
シマジン	平成30年12月12日	平成30年7月3日	<0.0003	0.03
チオベンカルブ			<0.0003	0.2
有機リン化合物(Org-P)	平成30年9月19日	平成30年7月3日	<0.1	0.2
ぼう素			0.66	10
弗素(F)			<1	8
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)	平成30年8月22日	平成30年7月3日	<1	5
ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類)				5
フェノール類	平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.03	0.5
大腸菌群数	平成31年4月5日	平成31年3月19日	0	3000
アンモニア性窒素	平成31年2月8日	平成31年1月8日	<0.5	100
亜硝酸性窒素			<0.02	
硝酸性窒素			3.7	
リン(T-P)	平成31年4月5日	平成31年3月19日	<0.05	0.5
ダイオキシン類	平成31年1月15日	平成30年12月21日	0.00057	10
措置	年 月 日			

※ 単位:mg/l (pH(-)、大腸菌群数(個/ml)、ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ ノルマルヘキサン抽出物質含有量の値は、鉱油類及び動植物油脂類の合算値を表示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「横浜市生活環境の保全等に関する条例」、

「横浜市環境影響評価条例」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

令和元年7月18日

周縁地下水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)			
採水場所		処分地内上流域及び下流域			
項目	水質検査結果の 得られた年月日	採取年月日	検査結果		環境基準値
			上流域	下流域	
電気伝導率	令和元年7月18日	令和元年6月18日	23	33	－
塩化物イオン			10	6.7	－
アルキル水銀(R-Hg)	令和元年6月17日	平成31年1月23日	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)			<0.0005	<0.0005	0.0005
カドミウム(Cd)			<0.0003	<0.0003	0.003
鉛(Pb)			<0.005	<0.005	0.01
六価クロム(Cr ⁶⁺)			<0.005	<0.005	0.05
砒素(As)			<0.005	<0.005	0.01
セレン(Se)			<0.005	<0.005	0.01
全シアン(CN)			<0.01	<0.01	検出されないこと
PCB			<0.0005	<0.0005	検出されないこと
トリクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.01
テトラクロロエチレン			<0.0005	<0.0005	0.01
ジクロロメタン			<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素			<0.0002	<0.0002	0.002
塩化ビニルモノマー			<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン			<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.001	<0.001	0.04
トランス-1,2-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0005	<0.0005	1
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン			<0.001	<0.001	0.01
1,4-ジオキサン			<0.005	<0.005	0.05
チウラム			<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン			<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ			<0.002	<0.002	0.02
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			<0.7	0.7	10
ほう素			<0.01	0.16	1
弗素(F)			0.2	0.3	0.8
ダイオキシン類			0.068	0.076	1
年 月 日					
措置					

※ 単位:mg/l (電気伝導率(mS/m), ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「環境基本法」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

第2号様式（第4条）

廃棄物処理施設（最終処分場）維持管理記録票（令和元年7月分）

施設の名称		神明台処分地（第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立）															
施設の種類		一般廃棄物最終処分場															
施設の設置場所		横浜市泉区池の谷4098 外															
施設の概要		面積	93,000㎡ (3万4千㎡+3万5千㎡+2万4千㎡)						埋立容量	1,500,000㎡ (33万㎡+81万㎡+36万㎡)							
埋立処分量 (t) (累計)	一般廃棄物	焼却灰				不燃物				計							
		1,188,169				39,268				1,227,437							
	産業廃棄物	燃え殻				汚泥				廃プラスチック類				ゴムくず			
		金属くず				ガラス・陶器くず				鋳さい				がれき類			
		ばいじん				その他								月計			
	覆土量	覆土量								埋立量							
										1,227,437							
残余埋立容量（令和 年度末時点）㎡																	
擁壁点検		点検日：	令和元年 7月 31日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														
遮水工点検		点検日：	令和元年 7月 31日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														
調整池点検		点検日：	令和元年 7月 31日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														
浸出水処理施設点検		点検日：	令和元年 7月 31日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														

※埋立量は、各処分場からの実績報告による。

放流水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)		
採取場所		排水処理施設放流口		
項目	水質検査結果の 得られた年月日	試料採取年月日	検査結果	排水基準値
水素イオン濃度(pH)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	6.5	5.8以上8.6以下
化学的酸素要求量(COD)			3.2	25
生物化学的酸素要求量(BOD)			<1	8
浮遊物質(SS)			<10	60
窒素含有量(T-N)			19	100
アルキル水銀(R-Hg)	平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.0005	0.005
カドミウム(Cd)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.003	0.03
鉛(Pb)			<0.05	0.1
銅(Cu)			<0.1	1
亜鉛(Zn)			<0.1	1
溶解性鉄(D-Fe)			<0.1	3
溶解性マンガン(D-Mn)			<0.02	1
クロム(T-Cr)			<0.1	2
ニッケル(Ni)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.1	1
六価クロム(Cr ⁶⁺)			<0.05	0.5
砒素(As)			<0.01	0.1
セレン(Se)			<0.01	0.1
全シアン(CN)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.05	1
PCB	平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.0005	0.003
トリクロロエチレン	平成30年9月19日	平成30年7月3日	<0.0002	0.1
テトラクロロエチレン			<0.0002	0.1
ジクロロメタン			<0.0002	0.2
四塩化炭素			<0.0002	0.02
1,2-ジクロロエタン			<0.0002	0.04
1,1-ジクロロエチレン			<0.0002	1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.0002	0.4
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0002	3
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0002	0.06
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	0.02
ベンゼン			<0.0002	0.1
1,4-ジオキサン			<0.005	0.5
チウラム	平成30年11月21日	平成30年7月3日	<0.001	0.06
シマジン	平成30年12月12日	平成30年7月3日	<0.0003	0.03
チオベンカルブ			<0.0003	0.2
有機リン化合物(Org-P)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.1	0.2
ほう素			0.59	10
弗素(F)			<1	8
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)			<1	5
ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類)	令和元年8月20日	令和元年7月2日		5
フェノール類	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.03	0.5
大腸菌群数	令和元年8月20日	令和元年7月2日	0	3000
アンモニア性窒素			1.1	
亜硝酸性窒素			<0.5	100
硝酸性窒素			18	
リン(T-P)			<0.05	0.5
ダイオキシン類	平成31年1月15日	平成30年12月21日	0.00057	10
措置	年 月 日			

※ 単位:mg/l (pH(-)、大腸菌群数(個/ml)、ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ ノルマルヘキサン抽出物質含有量の値は、鉱油類及び動植物油脂類の合算値を表示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「横浜市生活環境の保全等に関する条例」、

「横浜市環境影響評価条例」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

周縁地下水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)			
採水場所		処分地内上流域及び下流域			
項目	水質検査結果の 得られた年月日	採取年月日	検査結果		環境基準値
			上流域	下流域	
電気伝導率	令和元年8月20日	令和元年7月9日	21	32	－
塩化物イオン			10	6.1	－
アルキル水銀(R-Hg)	令和元年6月17日	平成31年1月23日	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)			<0.0005	<0.0005	0.0005
カドミウム(Cd)			<0.0003	<0.0003	0.003
鉛(Pb)			<0.005	<0.005	0.01
六価クロム(Cr ⁶⁺)			<0.005	<0.005	0.05
砒素(As)			<0.005	<0.005	0.01
セレン(Se)			<0.005	<0.005	0.01
全シアン(CN)			<0.01	<0.01	検出されないこと
PCB			<0.0005	<0.0005	検出されないこと
トリクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.01
テトラクロロエチレン			<0.0005	<0.0005	0.01
ジクロロメタン			<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素			<0.0002	<0.0002	0.002
塩化ビニルモノマー			<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン			<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.001	<0.001	0.04
トランス-1,2-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0005	<0.0005	1
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン			<0.001	<0.001	0.01
1,4-ジオキサン			<0.005	<0.005	0.05
チウラム			<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン			<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ			<0.002	<0.002	0.02
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			<0.7	0.7	10
ほう素			<0.01	0.16	1
弗素(F)	0.2	0.3	0.8		
ダイオキシン類	0.068	0.076	1		
措置	年 月 日				

※ 単位:mg/l (電気伝導率(mS/m), ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「環境基本法」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

第2号様式（第4条）

廃棄物処理施設（最終処分場）維持管理記録票（令和元年8月分）

施設の名称		神明台処分地（第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立）													
施設の種類		一般廃棄物最終処分場													
施設の設置場所		横浜市泉区池の谷4098 外													
施設の概要		面積				93,000㎡ (3万4千㎡+3万5千㎡+2万4千㎡)				埋立容量		1,500,000㎡ (33万㎡+81万㎡+36万㎡)			
埋立処分量 (t) (累計)	一般廃棄物	焼却灰				不燃物				計					
		1,188,169				39,268				1,227,437					
	産業廃棄物	燃え殻		汚泥		廃プラスチック類				ゴムくず					
		金属くず		ガラス・陶器くず		鋳さい				がれき類					
		ばいじん		その他						月計					
	覆土量	覆土量				埋立量									
						1,227,437									
残余埋立容量（令和 年度末時点）㎡															
擁壁点検		点検日：		令和元年 8月 30日 結果：異状なし											
		措置日：		年 月 日 内容：											
遮水工点検		点検日：		令和元年 8月 30日 結果：異状なし											
		措置日：		年 月 日 内容：											
調整池点検		点検日：		令和元年 8月 30日 結果：異状なし											
		措置日：		年 月 日 内容：											
浸出水処理施設点検		点検日：		令和元年 8月 30日 結果：異状なし											
		措置日：		年 月 日 内容：											

※埋立量は、各処分場からの実績報告による。

放流水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)		
採取場所		排水処理施設放流口		
項目	水質検査結果の 得られた年月日	試料採取年月日	検査結果	排水基準値
水素イオン濃度(pH)	令和元年9月24日	令和元年8月6日	6.8	5.8以上8.6以下
化学的酸素要求量(COD)			5.5	25
生物化学的酸素要求量(BOD)			1.0	8
浮遊物質(SS)			<10	60
窒素含有量(T-N)			19	100
アルキル水銀(R-Hg)	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.0005	0.005
カドミウム(Cd)	令和元年9月24日	令和元年8月6日	<0.003	0.03
鉛(Pb)			<0.05	0.1
銅(Cu)			<0.1	1
亜鉛(Zn)			<0.1	1
溶解性鉄(D-Fe)			<0.1	3
溶解性マンガン(D-Mn)			<0.02	1
クロム(T-Cr)			<0.1	2
ニッケル(Ni)			<0.1	1
六価クロム(Cr ⁶⁺)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.05	0.5
砒素(As)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.01	0.1
セレン(Se)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.01	0.1
全シアン(CN)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.05	1
PCB	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0005	0.003
トリクロロエチレン	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0002	0.1
テトラクロロエチレン			<0.0002	0.1
ジクロロメタン			<0.0002	0.2
四塩化炭素			<0.0002	0.02
1,2-ジクロロエタン			<0.0002	0.04
1,1-ジクロロエチレン			<0.0002	1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.0002	0.4
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0002	3
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0002	0.06
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	0.02
ベンゼン			<0.0002	0.1
1,4-ジオキサン			0.007	0.5
チウラム	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.001	0.06
シマジン	平成30年12月12日	平成30年7月3日	<0.0003	0.03
チオベンカルブ			<0.0003	0.2
有機リン化合物(Org-P)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.1	0.2
ほう素			0.59	10
弗素(F)			<1	8
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<1	5
ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<1	5
フェノール類	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.03	0.5
大腸菌群数	令和元年8月20日	令和元年7月2日	0	3000
アンモニア性窒素			1.1	100
亜硝酸性窒素			<0.5	
硝酸性窒素			18	
リン(T-P)			<0.05	0.5
ダイオキシン類	平成31年1月15日	平成30年12月21日	0.00057	10
措置	年 月 日			

※ 単位:mg/l (pH(-)、大腸菌群数(個/ml)、ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ ノルマルヘキサン抽出物質含有量の値は、鉱油類及び動植物油脂類の合算値を表示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「横浜市生活環境の保全等に関する条例」、

「横浜市環境影響評価条例」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

令和元年9月24日

周縁地下水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)			
採水場所		処分地内上流域及び下流域			
項目	水質検査結果の 得られた年月日	採取年月日	検査結果		環境基準値
			上流域	下流域	
電気伝導率	令和元年9月24日	令和元年8月27日	22	31	－
塩化物イオン			7.5	5.4	－
アルキル水銀(R-Hg)	令和元年6月17日	平成31年1月23日	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)			<0.0005	<0.0005	0.0005
カドミウム(Cd)			<0.0003	<0.0003	0.003
鉛(Pb)			<0.005	<0.005	0.01
六価クロム(Cr ⁶⁺)			<0.005	<0.005	0.05
砒素(As)			<0.005	<0.005	0.01
セレン(Se)			<0.005	<0.005	0.01
全シアン(CN)			<0.01	<0.01	検出されないこと
PCB			<0.0005	<0.0005	検出されないこと
トリクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.01
テトラクロロエチレン			<0.0005	<0.0005	0.01
ジクロロメタン			<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素			<0.0002	<0.0002	0.002
塩化ビニルモノマー			<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン			<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.001	<0.001	0.04
トランス-1,2-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0005	<0.0005	1
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン			<0.001	<0.001	0.01
1,4-ジオキサン			<0.005	<0.005	0.05
チウラム			<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン			<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ			<0.002	<0.002	0.02
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			<0.7	0.7	10
ほう素			<0.01	0.16	1
弗素(F)			0.2	0.3	0.8
ダイオキシン類			0.068	0.076	1
年 月 日					
措置					

※ 単位:mg/l (電気伝導率(mS/m), ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「環境基本法」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

第2号様式（第4条）

廃棄物処理施設（最終処分場）維持管理記録票（令和元年9月分）

施設の名称		神明台処分地（第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立）													
施設の種類		一般廃棄物最終処分場													
施設の設置場所		横浜市泉区池の谷4098 外													
施設の概要		面積	93,000㎡ (3万4千㎡+3万5千㎡+2万4千㎡)						埋立容量	1,500,000㎡ (33万㎡+81万㎡+36万㎡)					
埋立処分量 (t) (累計)	一般廃棄物	焼却灰				不燃物				計					
		1,188,169				39,268				1,227,437					
	産業廃棄物	燃え殻				汚泥				廃プラスチック類				ゴムくず	
		金属くず				ガラス・陶器くず				鋳さい				がれき類	
		ばいじん				その他								月計	
	覆土量	覆土量								埋立量					
										1,227,437					
残余埋立容量（令和 年度末時点）㎡															
擁壁点検	点検日：	令和元年 9月 30日 結果：異状なし													
	措置日：	年 月 日 内容：													
遮水工点検	点検日：	令和元年 9月 30日 結果：異状なし													
	措置日：	年 月 日 内容：													
調整池点検	点検日：	令和元年 9月 30日 結果：異状なし													
	措置日：	年 月 日 内容：													
浸出水処理施設点検	点検日：	令和元年 9月 30日 結果：異状なし													
	措置日：	年 月 日 内容：													

※埋立量は、各処分場からの実績報告による。

放流水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)			
採取場所		排水処理施設放流口			
項目		水質検査結果の 得られた年月日	試料採取年月日	検査結果	排水基準値
水素イオン濃度(pH)		令和元年10月21日	令和元年9月3日	6.7	5.8以上8.6以下
化学的酸素要求量(COD)				6.2	25
生物化学的酸素要求量(BOD)				<1	8
浮遊物質(SS)				<10	60
窒素含有量(T-N)				13	100
アルキル水銀(R-Hg)		令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.0005	0.005
カドミウム(Cd)		令和元年10月21日	令和元年9月3日	<0.003	0.03
鉛(Pb)				<0.05	0.1
銅(Cu)				<0.1	1
亜鉛(Zn)				<0.1	1
溶解性鉄(D-Fe)				<0.1	3
溶解性マンガン(D-Mn)				0.08	1
クロム(T-Cr)				<0.1	2
ニッケル(Ni)				<0.1	1
六価クロム(Cr ⁶⁺)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.05	0.5
砒素(As)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.01	0.1
セレン(Se)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.01	0.1
全シアン(CN)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.05	1
PCB		令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0005	0.003
トリクロロエチレン		令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0002	0.1
テトラクロロエチレン				<0.0002	0.1
ジクロロメタン				<0.0002	0.2
四塩化炭素				<0.0002	0.02
1,2-ジクロロエタン				<0.0002	0.04
1,1-ジクロロエチレン				<0.0002	1
シス-1,2-ジクロロエチレン				<0.0002	0.4
1,1,1-トリクロロエタン				<0.0002	3
1,1,2-トリクロロエタン				<0.0002	0.06
1,3-ジクロロプロペン				<0.0002	0.02
ベンゼン				<0.0002	0.1
1,4-ジオキサン				0.007	0.5
チウラム		令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.001	0.06
シマジン		平成30年12月12日	平成30年7月3日	<0.0003	0.03
チオベンカルブ				<0.0003	0.2
有機リン化合物(Org-P)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.1	0.2
ほう素				0.59	10
弗素(F)				<1	8
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)				<1	5
ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<1	5
フェノール類		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.03	0.5
大腸菌群数		令和元年8月20日	令和元年7月2日	0	3000
アンモニア性窒素				1.1	100
亜硝酸性窒素				<0.5	
硝酸性窒素				18	
燐(T-P)				<0.05	0.5
ダイオキシン類		平成31年1月15日	平成30年12月21日	0.00057	10
措置	年 月 日				

※ 単位:mg/l (pH(-)、大腸菌群数(個/ml)、ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)
※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。
※ ノルマルヘキサン抽出物質含有量の値は、鉱油類及び動植物油脂類の合算値を表示しています。
※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。
※ 基準値は次の法令を根拠としています。
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「横浜市生活環境の保全等に関する条例」、
「横浜市環境影響評価条例」
「ダイオキシン類対策特別措置法」

周縁地下水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)			
採水場所		処分地内上流域及び下流域			
項目	水質検査結果の 得られた年月日	採取年月日	検査結果		環境基準値
			上流域	下流域	
電気伝導率	令和元年10月21日	令和元年9月13日	24	31	－
塩化物イオン			9.6	5.0	－
アルキル水銀(R-Hg)	令和元年6月17日	平成31年1月23日	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)			<0.0005	<0.0005	0.0005
カドミウム(Cd)			<0.0003	<0.0003	0.003
鉛(Pb)			<0.005	<0.005	0.01
六価クロム(Cr ⁶⁺)			<0.005	<0.005	0.05
砒素(As)			<0.005	<0.005	0.01
セレン(Se)			<0.005	<0.005	0.01
全シアン(CN)			<0.01	<0.01	検出されないこと
PCB			<0.0005	<0.0005	検出されないこと
トリクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.01
テトラクロロエチレン			<0.0005	<0.0005	0.01
ジクロロメタン			<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素			<0.0002	<0.0002	0.002
塩化ビニルモノマー			<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン			<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.001	<0.001	0.04
トランス-1,2-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0005	<0.0005	1
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン			<0.001	<0.001	0.01
1,4-ジオキサン			<0.005	<0.005	0.05
チウラム			<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン			<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ			<0.002	<0.002	0.02
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			<0.7	0.7	10
ほう素			<0.01	0.16	1
弗素(F)	0.2	0.3	0.8		
ダイオキシン類	0.068	0.076	1		
措置	年 月 日				

※ 単位:mg/l (電気伝導率(mS/m), ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「環境基本法」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

第2号様式（第4条）

廃棄物処理施設（最終処分場）維持管理記録票（令和元年10月分）

施設 の 名 称		神明台処分地（第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立）															
施設 の 種 類		一般廃棄物最終処分場															
施設の設置場所		横浜市泉区池の谷4098 外															
施設 の 概 要		面 積	93,000㎡ (3万4千㎡+3万5千㎡+2万4千㎡)						埋立 容量	1,500,000㎡ (33万㎡+81万㎡+36万㎡)							
埋立 処分量 (t) (累計)	一 般 廃棄物	焼 却 灰				不 燃 物				計							
		1,188,169				39,268				1,227,437							
	産 業 廃棄物	燃 え 殻				汚 泥				廃プラスチック類				ゴ ム く ず			
		金 属 く ず				ガラス・陶器くず				鋳 さ い				が れ き 類			
		ば い じ ん				そ の 他								月 計			
	覆土量	覆土量								埋立量							
										1,227,437							
残余埋立容量（令和 年度末時点）㎡																	
擁 壁 点 検		点検日：	令和元年 10月 31 日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														
遮 水 工 点 検		点検日：	令和元年 10月 31 日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														
調 整 池 点 検		点検日：	令和元年 10月 31 日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														
浸出水処理施設点検		点検日：	令和元年 10月 31 日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														

※埋立量は、各処分場からの実績報告による。

放流水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)				
採取場所		排水処理施設放流口				
項目		水質検査結果の 得られた年月日	試料採取年月日	検査結果	排水基準値	
水素イオン濃度(pH)		令和元年11月22日	令和元年10月8日	6.9	5.8以上8.6以下	
化学的酸素要求量(COD)				6.4		25
生物化学的酸素要求量(BOD)				<1		8
浮遊物質(SS)				<10		60
窒素含有量(T-N)				18		100
アルキル水銀(R-Hg)		令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0005	検出されないこと	
総水銀(T-Hg)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.0005	0.005	
カドミウム(Cd)		令和元年11月22日	令和元年10月8日	<0.003	0.03	
鉛(Pb)				<0.05	0.1	
銅(Cu)				<0.1	1	
亜鉛(Zn)				<0.1	1	
溶解性鉄(D-Fe)				<0.1	3	
溶解性マンガン(D-Mn)				0.04	1	
クロム(T-Cr)				<0.1	2	
ニッケル(Ni)				<0.1	1	
六価クロム(Cr ⁶⁺)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.05	0.5	
砒素(As)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.01	0.1	
セレン(Se)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.01	0.1	
全シアン(CN)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.05	1	
PCB		令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0005	0.003	
トリクロロエチレン		令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0002	0.1	
テトラクロロエチレン				<0.0002	0.1	
ジクロロメタン				<0.0002	0.2	
四塩化炭素				<0.0002	0.02	
1,2-ジクロロエタン				<0.0002	0.04	
1,1-ジクロロエチレン				<0.0002	1	
シス-1,2-ジクロロエチレン				<0.0002	0.4	
1,1,1-トリクロロエタン				<0.0002	3	
1,1,2-トリクロロエタン				<0.0002	0.06	
1,3-ジクロロプロペン				<0.0002	0.02	
ベンゼン				<0.0002	0.1	
1,4-ジオキサン				0.007	0.5	
チウラム		令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.001	0.06	
シマジン		令和元年11月22日	令和元年7月2日	<0.0003	0.03	
チオベンカルブ				<0.0003	0.2	
有機リン化合物(Org-P)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.1	0.2	
ほう素				0.59	10	
弗素(F)				<1	8	
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)				<1	5	
ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<1	5	
フェノール類		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.03	0.5	
大腸菌群数		令和元年8月20日	令和元年7月2日	0	3000	
アンモニア性窒素				1.1	100	
亜硝酸性窒素				<0.5		
硝酸性窒素				18		
燐(T-P)				<0.05	0.5	
ダイオキシン類		平成31年1月15日	平成30年12月21日	0.00057	10	
措置	年 月 日					

※ 単位:mg/l (pH(-)、大腸菌群数(個/ml)、ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)
※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。
※ ノルマルヘキサン抽出物質含有量の値は、鉱油類及び動植物油脂類の合算値を表示しています。
※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。
※ 基準値は次の法令を根拠としています。
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「横浜市生活環境の保全等に関する条例」、
「横浜市環境影響評価条例」
「ダイオキシン類対策特別措置法」

周縁地下水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)			
採水場所		処分地内上流域及び下流域			
項目	水質検査結果の 得られた年月日	採取年月日	検査結果		環境基準値
			上流域	下流域	
電気伝導率	令和元年11月22日	令和元年10月16日	22	30	－
塩化物イオン			10	6.4	－
アルキル水銀(R-Hg)	令和元年6月17日	平成31年1月23日	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)			<0.0005	<0.0005	0.0005
カドミウム(Cd)			<0.0003	<0.0003	0.003
鉛(Pb)			<0.005	<0.005	0.01
六価クロム(Cr ⁶⁺)			<0.005	<0.005	0.05
砒素(As)			<0.005	<0.005	0.01
セレン(Se)			<0.005	<0.005	0.01
全シアン(CN)			<0.01	<0.01	検出されないこと
PCB			<0.0005	<0.0005	検出されないこと
トリクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.01
テトラクロロエチレン			<0.0005	<0.0005	0.01
ジクロロメタン			<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素			<0.0002	<0.0002	0.002
塩化ビニルモノマー			<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン			<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.001	<0.001	0.04
トランス-1,2-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0005	<0.0005	1
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン			<0.001	<0.001	0.01
1,4-ジオキサン			<0.005	<0.005	0.05
チウラム			<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン			<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ			<0.002	<0.002	0.02
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			<0.7	0.7	10
ほう素			<0.01	0.16	1
弗素(F)	0.2	0.3	0.8		
ダイオキシン類	0.068	0.076	1		
措置	年 月 日				

※ 単位:mg/l (電気伝導率(mS/m), ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「環境基本法」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

第2号様式（第4条）

廃棄物処理施設（最終処分場）維持管理記録票

（令和元年11月分）

施 設 の 名 称		神明台処分地（第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立）															
施 設 の 種 類		一般廃棄物最終処分場															
施設の設置場所		横浜市泉区池の谷4098 外															
施 設 の 概 要		面 積				93,000㎡ (3万4千㎡+3万5千㎡+2万4千㎡)				埋立 容量		1,500,000㎡ (33万㎡+81万㎡+36万㎡)					
埋 立 処 分 量 (t) (累計)	一 般 廃棄物	焼 却 灰				不 燃 物				計							
		1,188,169				39,268				1,227,437							
	産 業 廃棄物	燃 え 殻		汚 泥		廃プラスチック類				ゴ ム く ず							
		金 属 く ず		ガラス・陶器くず		鋳 さ い				が れ き 類							
		ば い じ ん		そ の 他						月 計							
	覆土量	覆土量								埋立量							
										1,227,437							
残余埋立容量（令和 年度末時点）㎡																	
擁 壁 点 検		点検日：	令和元年 11月 29 日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														
遮 水 工 点 検		点検日：	令和元年 11月 29 日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														
調 整 池 点 検		点検日：	令和元年 11月 29 日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														
浸出水処理施設点検		点検日：	令和元年 11月 29 日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														

※埋立量は、各処分場からの実績報告による。

放流水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)		
採取場所		排水処理施設放流口		
項目	水質検査結果の 得られた年月日	試料採取年月日	検査結果	排水基準値
水素イオン濃度(pH)	令和元年12月19日	令和元年11月6日	6.9	5.8以上8.6以下
化学的酸素要求量(COD)			5.8	25
生物化学的酸素要求量(BOD)			<1	8
浮遊物質(SS)			<10	60
窒素含有量(T-N)			23	100
アルキル水銀(R-Hg)	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.0005	0.005
カドミウム(Cd)	令和元年12月19日	令和元年11月6日	<0.003	0.03
鉛(Pb)			<0.05	0.1
銅(Cu)			<0.1	1
亜鉛(Zn)			<0.1	1
溶解性鉄(D-Fe)			<0.1	3
溶解性マンガン(D-Mn)			0.06	1
クロム(T-Cr)			<0.1	2
ニッケル(Ni)			<0.1	1
六価クロム(Cr ⁶⁺)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.05	0.5
砒素(As)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.01	0.1
セレン(Se)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.01	0.1
全シアン(CN)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.05	1
PCB	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0005	0.003
トリクロロエチレン	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0002	0.1
テトラクロロエチレン			<0.0002	0.1
ジクロロメタン			<0.0002	0.2
四塩化炭素			<0.0002	0.02
1,2-ジクロロエタン			<0.0002	0.04
1,1-ジクロロエチレン			<0.0002	1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.0002	0.4
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0002	3
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0002	0.06
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	0.02
ベンゼン			<0.0002	0.1
1,4-ジオキサン			0.007	0.5
チウラム	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.001	0.06
シマジン	令和元年11月22日	令和元年7月2日	<0.0003	0.03
チオベンカルブ			<0.0003	0.2
有機リン化合物(Org-P)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.1	0.2
ほう素			0.59	10
弗素(F)			<1	8
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<1	5
ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類)				5
フェノール類	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.03	0.5
大腸菌群数	令和元年8月20日	令和元年7月2日	0	3000
アンモニア性窒素			1.1	100
亜硝酸性窒素			<0.5	
硝酸性窒素			18	
リン(T-P)			<0.05	0.5
ダイオキシン類	平成31年1月15日	平成30年12月21日	0.00057	10
措置	年 月 日			

※ 単位:mg/l (pH(-)、大腸菌群数(個/ml)、ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ ノルマルヘキサン抽出物質含有量の値は、鉱油類及び動植物油脂類の合算値を表示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「横浜市生活環境の保全等に関する条例」、

「横浜市環境影響評価条例」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

周縁地下水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)			
採水場所		処分地内上流域及び下流域			
項目	水質検査結果の 得られた年月日	採取年月日	検査結果		環境基準値
			上流域	下流域	
電気伝導率	令和元年12月19日	令和元年11月12日	22	31	－
塩化物イオン			11	7.3	－
アルキル水銀(R-Hg)	令和元年6月17日	平成31年1月23日	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)			<0.0005	<0.0005	0.0005
カドミウム(Cd)			<0.0003	<0.0003	0.003
鉛(Pb)			<0.005	<0.005	0.01
六価クロム(Cr ⁶⁺)			<0.005	<0.005	0.05
砒素(As)			<0.005	<0.005	0.01
セレン(Se)			<0.005	<0.005	0.01
全シアン(CN)			<0.01	<0.01	検出されないこと
PCB			<0.0005	<0.0005	検出されないこと
トリクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.01
テトラクロロエチレン			<0.0005	<0.0005	0.01
ジクロロメタン			<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素			<0.0002	<0.0002	0.002
塩化ビニルモノマー			<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン			<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.001	<0.001	0.04
トランス-1,2-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0005	<0.0005	1
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン			<0.001	<0.001	0.01
1,4-ジオキサン			<0.005	<0.005	0.05
チウラム			<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン			<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ			<0.002	<0.002	0.02
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			<0.7	0.7	10
ほう素			<0.01	0.16	1
弗素(F)	0.2	0.3	0.8		
ダイオキシン類	0.068	0.076	1		
措置	年 月 日				

※ 単位:mg/l (電気伝導率(mS/m), ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「環境基本法」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

第2号様式（第4条）

廃棄物処理施設（最終処分場）維持管理記録票（令和元年12月分）

施設 の 名 称		神明台処分地（第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立）															
施設 の 種 類		一般廃棄物最終処分場															
施設の設置場所		横浜市泉区池の谷4098 外															
施設 の 概 要		面 積				93,000㎡ (3万4千㎡+3万5千㎡+2万4千㎡)				埋立 容量		1,500,000㎡ (33万㎡+81万㎡+36万㎡)					
埋立 処分量 (t) (累計)	一 般 廃棄物	焼 却 灰				不 燃 物				計							
		1,188,169				39,268				1,227,437							
	産 業 廃棄物	燃 え 殻				汚 泥				廃プラスチック類				ゴ ム く ず			
		金 属 く ず				ガラス・陶器くず				鋳 さ い				が れ き 類			
		ば い じ ん				そ の 他								月 計			
	覆土量	覆土量								埋立量							
										1,227,437							
残余埋立容量（令和 年度末時点）㎡																	
擁 壁 点 検		点検日：		令和元年 12月 27 日 結果：異状なし													
		措置日：		年 月 日 内容：													
遮 水 工 点 検		点検日：		令和元年 12月 27 日 結果：異状なし													
		措置日：		年 月 日 内容：													
調 整 池 点 検		点検日：		令和元年 12月 27 日 結果：異状なし													
		措置日：		年 月 日 内容：													
浸出水処理施設点検		点検日：		令和元年 12月 27 日 結果：異状なし													
		措置日：		年 月 日 内容：													

※埋立量は、各処分場からの実績報告による。

放流水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)		
採取場所		排水処理施設放流口		
項目	水質検査結果の 得られた年月日	試料採取年月日	検査結果	排水基準値
水素イオン濃度(pH)	令和2年1月23日	令和元年12月3日	6.8	5.8以上8.6以下
化学的酸素要求量(COD)			5.7	25
生物化学的酸素要求量(BOD)			4.2	8
浮遊物質(SS)			<10	60
窒素含有量(T-N)			18	100
アルキル水銀(R-Hg)	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.0005	0.005
カドミウム(Cd)	令和2年1月23日	令和元年12月3日	<0.003	0.03
鉛(Pb)			<0.05	0.1
銅(Cu)			<0.1	1
亜鉛(Zn)			<0.1	1
溶解性鉄(D-Fe)			<0.1	3
溶解性マンガン(D-Mn)			0.04	1
クロム(T-Cr)			<0.1	2
ニッケル(Ni)			<0.1	1
六価クロム(Cr ⁶⁺)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.05	0.5
砒素(As)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.01	0.1
セレン(Se)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.01	0.1
全シアン(CN)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.05	1
PCB	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0005	0.003
トリクロロエチレン	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0002	0.1
テトラクロロエチレン			<0.0002	0.1
ジクロロメタン			<0.0002	0.2
四塩化炭素			<0.0002	0.02
1,2-ジクロロエタン			<0.0002	0.04
1,1-ジクロロエチレン			<0.0002	1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.0002	0.4
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0002	3
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0002	0.06
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	0.02
ベンゼン			<0.0002	0.1
1,4-ジオキサン			0.007	0.5
チウラム	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.001	0.06
シマジン	令和元年11月22日	令和元年7月2日	<0.0003	0.03
チオベンカルブ			<0.0003	0.2
有機リン化合物(Org-P)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.1	0.2
ほう素			0.59	10
弗素(F)			<1	8
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<1	5
ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類)				5
フェノール類	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.03	0.5
大腸菌群数	令和元年8月20日	令和元年7月2日	0	3000
アンモニア性窒素			1.1	100
亜硝酸性窒素			<0.5	
硝酸性窒素			18	
リン(T-P)			<0.05	0.5
ダイオキシン類	令和2年1月23日	令和元年11月11日	0.000040	10
措置	年 月 日			

※ 単位:mg/l (pH(-)、大腸菌群数(個/ml)、ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ ノルマルヘキサン抽出物質含有量の値は、鉱油類及び動植物油脂類の合算値を表示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「横浜市生活環境の保全等に関する条例」、

「横浜市環境影響評価条例」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

令和2年1月23日

周縁地下水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)			
採水場所		処分地内上流域及び下流域			
項目	水質検査結果の 得られた年月日	採取年月日	検査結果		環境基準値
			上流域	下流域	
電気伝導率	令和2年1月23日	令和元年12月3日	23	31	－
塩化物イオン			12	7.0	－
アルキル水銀(R-Hg)	令和元年6月17日	平成31年1月23日	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)			<0.0005	<0.0005	0.0005
カドミウム(Cd)			<0.0003	<0.0003	0.003
鉛(Pb)			<0.005	<0.005	0.01
六価クロム(Cr ⁶⁺)			<0.005	<0.005	0.05
砒素(As)			<0.005	<0.005	0.01
セレン(Se)			<0.005	<0.005	0.01
全シアン(CN)			<0.01	<0.01	検出されないこと
PCB			<0.0005	<0.0005	検出されないこと
トリクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.01
テトラクロロエチレン			<0.0005	<0.0005	0.01
ジクロロメタン			<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素			<0.0002	<0.0002	0.002
塩化ビニルモノマー			<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン			<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.001	<0.001	0.04
トランス-1,2-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0005	<0.0005	1
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン			<0.001	<0.001	0.01
1,4-ジオキサン			<0.005	<0.005	0.05
チウラム			<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン			<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ			<0.002	<0.002	0.02
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			<0.7	0.7	10
ほう素			<0.01	0.16	1
弗素(F)			0.2	0.3	0.8
ダイオキシン類			0.068	0.076	1
年 月 日					
措置					

※ 単位:mg/l (電気伝導率(mS/m), ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「環境基本法」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

第2号様式（第4条）

廃棄物処理施設（最終処分場）維持管理記録票（令和2年1月分）

施設の名称		神明台処分地（第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立）													
施設の種類		一般廃棄物最終処分場													
施設の設置場所		横浜市泉区池の谷4098 外													
施設の概要		面積				93,000㎡ (3万4千㎡+3万5千㎡+2万4千㎡)				埋立容量		1,500,000㎡ (33万㎡+81万㎡+36万㎡)			
埋立処分量 (t) (累計)	一般廃棄物	焼却灰				不燃物				計					
		1,188,169				39,268				1,227,437					
	産業廃棄物	燃え殻		汚泥		廃プラスチック類				ゴムくず					
		金属くず		ガラス・陶器くず		鉱さい				がれき類					
		ばいじん		その他						月計					
	覆土量	覆土量				埋立量									
						1,227,437									
残余埋立容量（令和 年度末時点）㎡															
擁壁点検	点検日：	令和2年 1月 31日 結果：異状なし													
	措置日：	年 月 日 内容：													
遮水工点検	点検日：	令和2年 1月 31日 結果：異状なし													
	措置日：	年 月 日 内容：													
調整池点検	点検日：	令和2年 1月 31日 結果：異状なし													
	措置日：	年 月 日 内容：													
浸出水処理施設点検	点検日：	令和2年 1月 31日 結果：異状なし													
	措置日：	年 月 日 内容：													

※埋立量は、各処分場からの実績報告による。

放流水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)		
採取場所		排水処理施設放流口		
項目	水質検査結果の 得られた年月日	試料採取年月日	検査結果	排水基準値
水素イオン濃度(pH)	令和2年2月27日	令和2年1月7日	7.4	5.8以上8.6以下
化学的酸素要求量(COD)			5.5	25
生物化学的酸素要求量(BOD)			1.6	8
浮遊物質(SS)			<10	60
窒素含有量(T-N)			21	100
アルキル水銀(R-Hg)	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.0005	0.005
カドミウム(Cd)	令和2年2月27日	令和2年1月7日	<0.003	0.03
鉛(Pb)			<0.05	0.1
銅(Cu)			<0.1	1
亜鉛(Zn)			<0.1	1
溶解性鉄(D-Fe)			<0.1	3
溶解性マンガン(D-Mn)			<0.02	1
クロム(T-Cr)			<0.1	2
ニッケル(Ni)			<0.1	1
六価クロム(Cr ⁶⁺)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.05	0.5
砒素(As)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.01	0.1
セレン(Se)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.01	0.1
全シアン(CN)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.05	1
PCB	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0005	0.003
トリクロロエチレン	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0002	0.1
テトラクロロエチレン			<0.0002	0.1
ジクロロメタン			<0.0002	0.2
四塩化炭素			<0.0002	0.02
1,2-ジクロロエタン			<0.0002	0.04
1,1-ジクロロエチレン			<0.0002	1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.0002	0.4
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0002	3
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0002	0.06
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	0.02
ベンゼン			<0.0002	0.1
1,4-ジオキサン			0.007	0.5
チウラム	令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.001	0.06
シマジン	令和元年11月22日	令和元年7月2日	<0.0003	0.03
チオベンカルブ			<0.0003	0.2
有機リン化合物(Org-P)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.1	0.2
ほう素			0.59	10
弗素(F)			<1	8
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<1	5
ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類)				5
フェノール類	令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.03	0.5
大腸菌群数	令和元年8月20日	令和元年7月2日	0	3000
アンモニア性窒素			1.1	100
亜硝酸性窒素			<0.5	
硝酸性窒素			18	
リン(T-P)			<0.05	0.5
ダイオキシン類	令和2年1月23日	令和元年11月11日	0.000040	10
措置	年 月 日			

※ 単位:mg/l (pH(-)、大腸菌群数(個/ml)、ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ ノルマルヘキサン抽出物質含有量の値は、鉱油類及び動植物油脂類の合算値を表示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「横浜市生活環境の保全等に関する条例」、

「横浜市環境影響評価条例」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

周縁地下水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)			
採水場所		処分地内上流域及び下流域			
項目	水質検査結果の 得られた年月日	採取年月日	検査結果		環境基準値
			上流域	下流域	
電気伝導率	令和2年2月27日	令和2年1月15日	23	31	－
塩化物イオン			11	7.2	－
アルキル水銀(R-Hg)	令和元年6月17日	平成31年1月23日	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)			<0.0005	<0.0005	0.0005
カドミウム(Cd)			<0.0003	<0.0003	0.003
鉛(Pb)			<0.005	<0.005	0.01
六価クロム(Cr ⁶⁺)			<0.005	<0.005	0.05
砒素(As)			<0.005	<0.005	0.01
セレン(Se)			<0.005	<0.005	0.01
全シアン(CN)			<0.01	<0.01	検出されないこと
PCB			<0.0005	<0.0005	検出されないこと
トリクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.01
テトラクロロエチレン			<0.0005	<0.0005	0.01
ジクロロメタン			<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素			<0.0002	<0.0002	0.002
塩化ビニルモノマー			<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン			<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.001	<0.001	0.04
トランス-1,2-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0005	<0.0005	1
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン			<0.001	<0.001	0.01
1,4-ジオキサン			<0.005	<0.005	0.05
チウラム			<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン			<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ			<0.002	<0.002	0.02
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			<0.7	0.7	10
ほう素			<0.01	0.16	1
弗素(F)	0.2	0.3	0.8		
ダイオキシン類	0.068	0.076	1		
措置	年 月 日				

※ 単位:mg/l (電気伝導率(mS/m), ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)

※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。

※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。

※ 基準値は次の法令を根拠としています。

「環境基本法」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

第2号様式（第4条）

廃棄物処理施設（最終処分場）維持管理記録票（令和2年2月分）

施設の名称		神明台処分地（第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立）															
施設の種類		一般廃棄物最終処分場															
施設の設置場所		横浜市泉区池の谷4098 外															
施設の概要		面積	93,000㎡ (3万4千㎡+3万5千㎡+2万4千㎡)						埋立容量	1,500,000㎡ (33万㎡+81万㎡+36万㎡)							
埋立処分量 (t) (累計)	一般廃棄物	焼却灰				不燃物				計							
		1,188,169				39,268				1,227,437							
	産業廃棄物	燃え殻				汚泥				廃プラスチック類				ゴムくず			
		金属くず				ガラス・陶器くず				鋳さい				がれき類			
		ばいじん				その他								月計			
	覆土量	覆土量								埋立量							
										1,227,437							
残余埋立容量（令和 年度末時点）㎡																	
擁壁点検		点検日：	令和2年 2月 28日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														
遮水工点検		点検日：	令和2年 2月 28日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														
調整池点検		点検日：	令和2年 2月 28日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														
浸出水処理施設点検		点検日：	令和2年 2月 28日 結果：異状なし														
		措置日：	年 月 日 内容：														

※埋立量は、各処分場からの実績報告による。

放流水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)			
採取場所		排水処理施設放流口			
項目		水質検査結果の 得られた年月日	試料採取年月日	検査結果	排水基準値
水素イオン濃度(pH)		令和2年3月9日	令和2年2月4日	6.8	5.8以上8.6以下
化学的酸素要求量(COD)				4.5	25
生物化学的酸素要求量(BOD)				1.1	8
浮遊物質(SS)				<10	60
窒素含有量(T-N)				15	100
アルキル水銀(R-Hg)		令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.0005	0.005
カドミウム(Cd)		令和2年3月9日	令和2年2月4日	<0.003	0.03
鉛(Pb)				<0.05	0.1
銅(Cu)				<0.1	1
亜鉛(Zn)				<0.1	1
溶解性鉄(D-Fe)				<0.1	3
溶解性マンガン(D-Mn)				<0.02	1
クロム(T-Cr)				<0.1	2
ニッケル(Ni)				<0.1	1
六価クロム(Cr ⁶⁺)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.05	0.5
砒素(As)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.01	0.1
セレン(Se)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.01	0.1
全シアン(CN)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.05	1
PCB		令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0005	0.003
トリクロロエチレン		令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.0002	0.1
テトラクロロエチレン				<0.0002	0.1
ジクロロメタン				<0.0002	0.2
四塩化炭素				<0.0002	0.02
1,2-ジクロロエタン				<0.0002	0.04
1,1-ジクロロエチレン				<0.0002	1
シス-1,2-ジクロロエチレン				<0.0002	0.4
1,1,1-トリクロロエタン				<0.0002	3
1,1,2-トリクロロエタン				<0.0002	0.06
1,3-ジクロロプロペン				<0.0002	0.02
ベンゼン				<0.0002	0.1
1,4-ジオキサン				0.007	0.5
チウラム		令和元年9月24日	令和元年7月2日	<0.001	0.06
シマジン		令和元年11月22日	令和元年7月2日	<0.0003	0.03
チオベンカルブ				<0.0003	0.2
有機リン化合物(Org-P)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.1	0.2
ほう素				0.59	10
弗素(F)				<1	8
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)				<1	5
ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類)		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<1	5
フェノール類		令和元年8月20日	令和元年7月2日	<0.03	0.5
大腸菌群数		令和元年8月20日	令和元年7月2日	0	3000
アンモニア性窒素				1.1	100
亜硝酸性窒素				<0.5	
硝酸性窒素				18	
燐(T-P)				<0.05	0.5
ダイオキシン類		令和2年1月23日	令和元年11月11日	0.000040	10
措置	年 月 日				

※ 単位:mg/l (pH(-)、大腸菌群数(個/ml)、ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)
※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。
※ ノルマルヘキサン抽出物質含有量の値は、鉱油類及び動植物油脂類の合算値を表示しています。
※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。
※ 基準値は次の法令を根拠としています。
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「横浜市生活環境の保全等に関する条例」、
「横浜市環境影響評価条例」
「ダイオキシン類対策特別措置法」

周縁地下水の水質検査結果

施設名		神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)			
採水場所		処分地内上流域及び下流域			
項目	水質検査結果の 得られた年月日	採取年月日	検査結果		環境基準値
			上流域	下流域	
電気伝導率	令和2年3月9日	令和2年2月28日	22	30	－
塩化物イオン			11	7.0	－
アルキル水銀(R-Hg)	令和元年6月17日	平成31年1月23日	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
総水銀(T-Hg)			<0.0005	<0.0005	0.0005
カドミウム(Cd)			<0.0003	<0.0003	0.003
鉛(Pb)			<0.005	<0.005	0.01
六価クロム(Cr ⁶⁺)			<0.005	<0.005	0.05
砒素(As)			<0.005	<0.005	0.01
セレン(Se)			<0.005	<0.005	0.01
全シアン(CN)			<0.01	<0.01	検出されないこと
PCB			<0.0005	<0.0005	検出されないこと
トリクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.01
テトラクロロエチレン			<0.0005	<0.0005	0.01
ジクロロメタン			<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素			<0.0002	<0.0002	0.002
塩化ビニルモノマー			<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン			<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	0.1
シス-1,2-ジクロロエチレン			<0.001	<0.001	0.04
トランス-1,2-ジクロロエチレン			<0.002	<0.002	
1,1,1-トリクロロエタン			<0.0005	<0.0005	1
1,1,2-トリクロロエタン			<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン			<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン			<0.001	<0.001	0.01
1,4-ジオキサン			<0.005	<0.005	0.05
チウラム			<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン			<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ			<0.002	<0.002	0.02
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			<0.7	0.7	10
ほう素			<0.01	0.16	1
弗素(F)	0.2	0.3	0.8		
ダイオキシン類	0.068	0.076	1		
措置	年 月 日				

※ 単位:mg/l (電気伝導率(mS/m), ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除きます。)
※ 水質検査結果は、直近の結果を示しています。
※ 基準値の「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。
※ 基準値は次の法令を根拠としています。
「環境基本法」
「ダイオキシン類対策特別措置法」

第2号様式（第4条）

廃棄物処理施設（最終処分場）維持管理記録票（令和2年3月分）

施設 の 名 称		神明台処分地（第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立）													
施設 の 種 類		一般廃棄物最終処分場													
施設の設置場所		横浜市泉区池の谷4098 外													
施設 の 概 要		面 積				93,000㎡ (3万4千㎡+3万5千㎡+2万4千㎡)				埋立 容量		1,500,000㎡ (33万㎡+81万㎡+36万㎡)			
埋立処分量 (t) (累計)	一 般 廃棄物	焼 却 灰				不 燃 物				計					
		1,188,169				39,268				1,227,437					
	産 業 廃棄物	燃 え 殻		汚 泥		廃プラスチック類				ゴ ム く ず					
		金 属 く ず		ガラス・陶器くず		鋳 さ い				が れ き 類					
		ば い じ ん		そ の 他						月 計					
	覆土量	覆土量						埋立量							
								1,227,437							
残余埋立容量（令和 年度末時点）㎡															
擁 壁 点 検		点検日：	令和2年 3月 31日 結果：異状なし												
		措置日：	年 月 日 内容：												
遮 水 工 点 検		点検日：	令和2年 3月 31日 結果：異状なし												
		措置日：	年 月 日 内容：												
調 整 池 点 検		点検日：	令和2年 3月 31日 結果：異状なし												
		措置日：	年 月 日 内容：												
浸出水処理施設点検		点検日：	令和2年 3月 31日 結果：異状なし												
		措置日：	年 月 日 内容：												

※埋立量は、各処分場からの実績報告による。

公共用水域に排出する放流水の水質検査結果

施設名	神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)
採取場所	排水処理施設放流口
水質検査結果の得られた年月日	令和2年4月22日

項目	単位	採取年月日	検査結果	基準値 ※1
カドミウム及びその化合物	mg/L	令和2年3月3日	<0.003	0.03
シアン化合物	mg/L			1
有機リン化合物	mg/L			0.2
鉛及びその化合物	mg/L	令和2年3月3日	<0.05	0.1
六価クロム化合物	mg/L			0.5
砒素及びその化合物	mg/L			0.1
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/L			0.005
アルキル水銀化合物	mg/L			検出されないこと ※3
ポリ塩化ビフェニル	mg/L			0.003
トリクロロエチレン	mg/L			0.1
テトラクロロエチレン	mg/L			0.1
ジクロロメタン	mg/L			0.2
四塩化炭素	mg/L			0.02
1,2-ジクロロエタン	mg/L			0.04
1,1-ジクロロエチレン	mg/L			1
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L			0.4
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L			3
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L			0.06
1,3-ジクロロプロペン	mg/L			0.02
チウラム	mg/L			0.06
シマジン	mg/L			0.03
チオベンカルブ	mg/L			0.2
ベンゼン	mg/L			0.1
セレン及びその化合物	mg/L			0.1
ほう素及びその化合物	mg/L			10
ふっ素及びその化合物	mg/L			8
アンモニア、アンモニウム化合物	mg/L			100
亜硝酸化合物	mg/L			
硝酸化合物	mg/L			
ダイオキシン類	pg-TEQ/L			10
フェノール類	mg/L			0.5
銅及びその化合物	mg/L	令和2年3月3日	<0.1	1
亜鉛及びその化合物	mg/L	令和2年3月3日	<0.1	1
鉄及びその化合物(溶解性のものに限る)	mg/L	令和2年3月3日	<0.1	3
マンガン及びその化合物(溶解性のものに限る)	mg/L	令和2年3月3日	<0.02	1
ニッケル及びその化合物	mg/L	令和2年3月3日	<0.1	1
クロム及びその化合物	mg/L	令和2年3月3日	<0.1	2
1,4-ジオキサン	mg/L			0.5
生物化学的酸素要求量	mg/L	令和2年3月3日	<1.0	25
化学的酸素要求量	mg/L	令和2年3月3日	5.3	25
浮遊物質	mg/L	令和2年3月3日	<10	60
水素イオン濃度(水素指数)	-	令和2年3月3日	7.4	5.8以上8.6以下
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類含有量)	mg/L		※2	5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類含有量)	mg/L			5
大腸菌群数	個/cm ³			3000
外観	-	令和2年3月3日	無色透明	※4
臭気	-	令和2年3月3日	無臭	※5
窒素含有量	mg/L	令和2年3月3日	19	-
リン含有量	mg/L			-

措置	年 月 日
----	-------

- ※1 横浜市生活環境保全等に関する条例施行規則 別表第11及び第12
一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令 別表第一
ダイオキシン類対策特別措置法施行規則 別表第2
- ※2 ノルマルヘキサン抽出物質は、鉱油類及び動植物油脂類の合計値を表示しています。
- ※3 「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。
- ※4 受け入れる水を著しく変化させるような色または濁度を増加させるような色又は濁りがないこと。
- ※5 受け入れる水に臭気を帯びさせるようなものを含んでいないこと。

周縁地下水の水質検査結果

施設名	神明台処分地(第7次Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期埋立)
採取場所	処分地内上流域及び下流域
水質検査結果の得られた年月日	令和2年4月22日

項目	単位	採取年月日	検査結果		基準値 ※1
			上流域	下流域	
電気伝導率	mS/m	令和2年3月10日	23	31	－
塩化物イオン	mg/L	令和2年3月10日	8.3	6.6	－
アルキル水銀	mg/L	令和2年1月24日	不検出	不検出	検出されないこと ※2
総水銀	mg/L	令和2年1月24日	<0.0005	<0.0005	0.0005
カドミウム	mg/L	令和2年1月24日	<0.0003	<0.0003	0.003
鉛	mg/L	令和2年1月24日	<0.005	<0.005	0.01
六価クロム	mg/L	令和2年1月24日	<0.005	<0.005	0.05
砒素	mg/L	令和2年1月24日	<0.005	<0.005	0.01
全シアン	mg/L	令和2年1月24日	不検出	不検出	検出されないこと ※2
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	令和2年1月24日	不検出	不検出	検出されないこと ※2
トリクロロエチレン	mg/L	令和2年1月24日	<0.002	<0.002	0.01
テトラクロロエチレン	mg/L	令和2年1月24日	<0.0005	<0.0005	0.01
ジクロロメタン	mg/L	令和2年1月24日	<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素	mg/L	令和2年1月24日	<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	令和2年1月24日	<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	令和2年1月24日	<0.002	<0.002	0.1
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	令和2年1月24日	<0.004	<0.004	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	令和2年1月24日	<0.0005	<0.0005	1
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	令和2年1月24日	<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	令和2年1月24日	<0.0002	<0.0002	0.002
チウラム	mg/L	令和2年1月24日	<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン	mg/L	令和2年1月24日	<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ	mg/L	令和2年1月24日	<0.002	<0.002	0.02
ベンゼン	mg/L	令和2年1月24日	<0.001	<0.001	0.01
セレン	mg/L	令和2年1月24日	<0.005	<0.005	0.01
1,4-ジオキサン	mg/L	令和2年1月24日	<0.005	<0.005	0.05
クロロエチレン(塩化ビニルモノマー)	mg/L	令和2年1月24日	<0.0002	<0.0002	0.002
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	令和2年1月24日	0.032	0.043	1
措置					

※1 一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令 別表第二 平成11年環境庁告示第68号 ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁(水底の底質の汚染を含む。)及び土壌の汚染に係る環境基準 別表

※2 「検出されないこと」は定量下限値未満であることを意味しています。